

まるやま
丸山B遺跡

所在地 豊田市田折町丸山地内
(北緯 35 度 1 分 39 秒
東経 137 度 19 分 27 秒)

調査理由 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成
事業

調査期間 平成 26 年 5 月～平成 26 年 9 月

調査面積 3,400 m²

担当者 成瀬友弘・石井香代子・尾崎弘子

調査経過 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う事前調査として、愛知県企業庁より
委託を受けて実施した。



調査地点 (国土地理院 1/2.5 万「東大沼」)

立地と環境 本遺跡は、南西に面した斜面から尾根にかけて立地しており、調査前の状況は山林で
あった。標高は海拔 465～478m 前後である。2013 年度に調査した孫石遺跡 (古代、中
世) は谷を挟んで南西 100m ほどの所にあり、同じ尾根を南下すると丸山 A 遺跡 (古代)
が位置する。

調査の概要 調査は、南西斜面の A 区 (1,700 m²) と尾根頂部の B 区 (1,700 m²) に分けて実施し
た。A 区では、近世以降の炭焼関連土坑の他、時期不明の溝や土坑を検出している。B
区では、溝と竪穴を検出した。これらの遺構内やその周囲から弥生時代中期の土器片が
出土しており、遺構も同時代のものの可能性が高い。近世以降の遺構では、炭焼関連
の土坑と炭焼窯を検出している。

1 4 A 区 調査は、表土と包含層相当層を外した地山の直上で行った。遺構は、傾斜に沿った浅
い溝をはじめ大小の土坑を多数検出している。これらの遺構のうち、溝 1 条から石鏃が
出土したが、その他の遺構から遺物の出土はなく、時期や用途に関しては不明である。
また、石鏃以外の遺物は、攪乱や包含層からごく少数の土器片が出土している。

表土直上の調査では、近世以降に炭焼窯に使用された土坑を 10 基検出した。うち 1
基からは磁器片が出土している。

当調査区は斜面が急な場所であり、生活痕は希薄であった。人為的に掘られたと認め
られる遺構、遺物もほとんど検出していない。出土した遺物は、A 区よりも更に上の遺
跡から流れてきたものの可能性が考えられる。

1 4 B 区 B 区は、A 区よりも更に斜面を上った尾根の頂部に位置し、南北と西が斜面になる
尾根の突端部に当たる。表土と包含層は浅く、地表から 20～30cm で地山に達する。

遺構の検出は地山直上で行った。遺構は頂部からわずかに北へ下った場所と頂部を挟
んで南に位置する 2 カ所で主に検出している。

このうちコ字形を呈する溝は、北で検出した 2 条 (243SD、265SD) と、南の 1 条 (282SD)
の合計 3 条である。いずれも残りが悪く、検出した溝は浅かった。北で検出した溝には、
底面でピットを検出したものもあった。溝の周辺からは弥生時代中期の土器片が出土し
ており、溝もこの時期のものと思われる。

竪穴建物は頂部の南で方形状の 3 基 (283SI、295SI、305SI) を検出した。いずれも

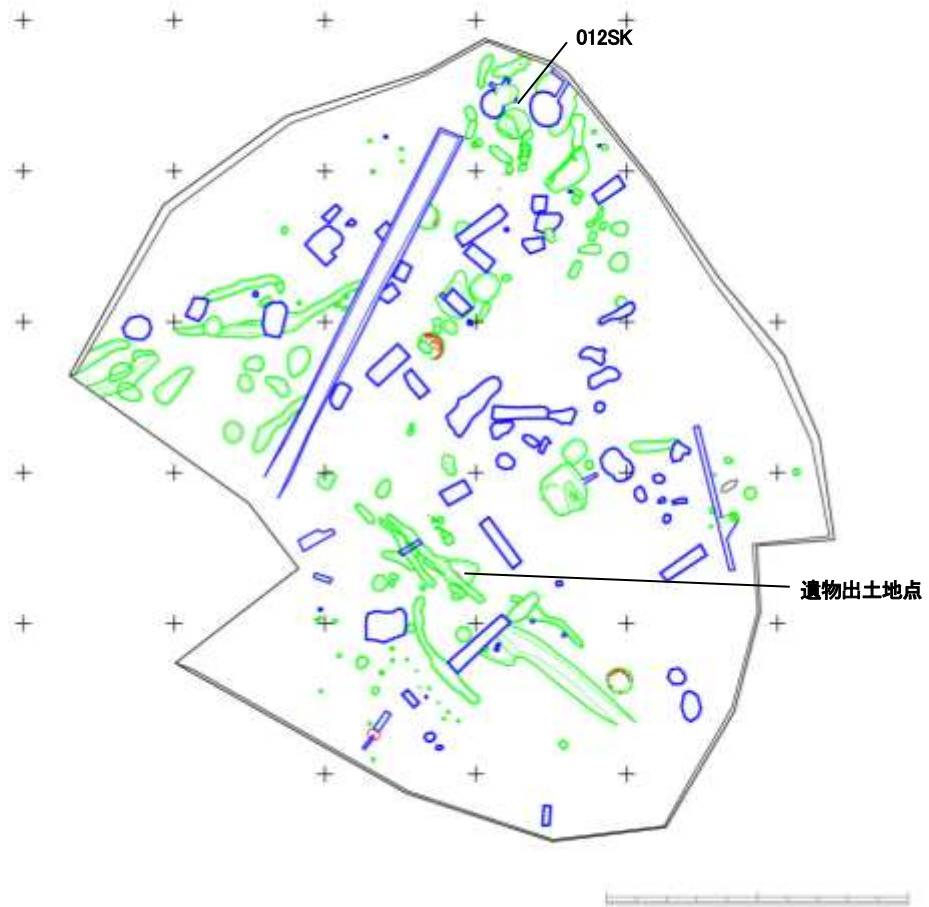
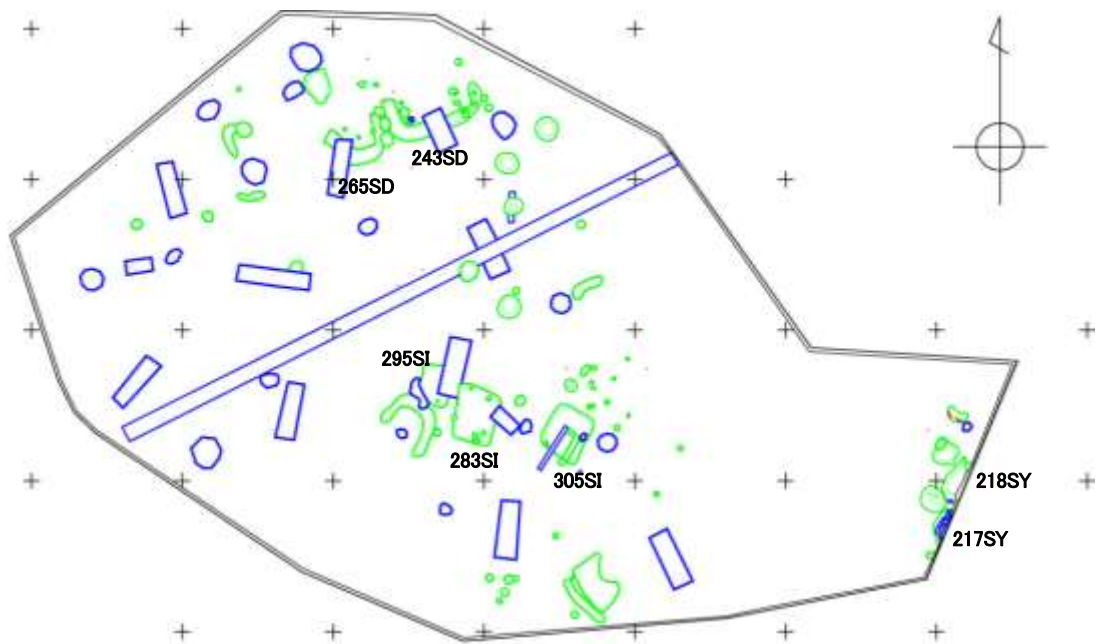
残りが悪く、検出面から 10cm 前後しか残っていなかった。竪穴の埋土からは弥生時代中期の土器が出土しており、遺構も同時期のものとみられる。

表土面の調査では、近世以降の炭焼窯に使用された土坑を 10 基、炭焼窯を 2 基(217SY、218SY) 検出している。炭焼窯は斜面を利用して作られたもので、斜面下方から順に構築されていたことが、壁面の炭の堆積からも分かる。調査区外のものも含めると 3 基以上が斜面に列状に築かれていた。炭焼窯の中には、礫を床面に敷いた上、煙道にも用いたものが 1 基あった (217SY)。なお、これら 2 基の炭焼窯の焚口横で土坑を 1 基ずつ検出しており、窯に付随するものとみられる。遺物は、炭焼窯を利用する際に使用されたとみられる陶器片が近くで出土している。

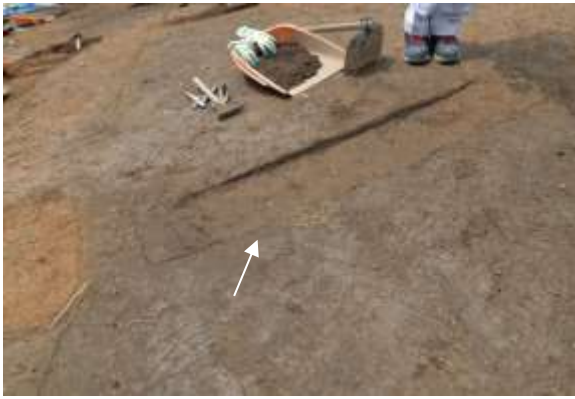
ま と め 丸山 B 遺跡は、尾根頂部を含んだ斜面地での調査であった。今まで尾根頂部を完全に含んだ調査は下山地区ではほとんど実施されていない。尾根頂部という場所柄、遺構の残りは悪く、遺物もほとんど包含層とともに流出したものとみられる。そのような状況下で、これまで下山では確認されてこなかった弥生時代中期の遺物を伴う遺構を検出することができた。今後、下山での弥生時代遺跡の在り方を考える上で、本遺跡は興味深いと考える。
(石井香代子)



丸山 B 遺跡 調査区図 (1:1,000)



丸山 B 遺跡 遺構配置図 (1:500) 赤ドットは遺物出土地点



A区 遺物(石鏃)出土状況



A区 遺物出土状況(近景)



A区 007SK(炭焼窯利用の土坑)検出状況



A区 012SK(炭焼窯利用の土坑)完掘状況



B区 243SD、265SD 検出状況



B区 243SD、265SD 完掘状況
溝の底部で更に土坑を検出



B区 弥生土器出土状況



B区 283SI 完掘状況



B区 305SI 完掘状況



B区 305SI 弥生土器（口縁部）出土状況



B区 217SY、218SY 検出状況



B区 217SY 完掘状況



B区 215SK 完掘
217SYの焚口横に設けられた土坑



A区全景（上がほぼ北）



B区 全景（上がほぼ北）